

# 書籍のご案内

ひまわり とわ

# 向日葵は永遠に

平和憲法一期生の八十年 野間美喜子遺稿集

著者 野間美喜子  
発行 風媒社  
サイズ 四六判  
ページ数 本文276ページ  
定価 1500円+税  
2021年5月8日発行

幼い頃の戦争と、小学一年で出会った「日本国憲法」。その時の体験を生涯忘れず、一人の人間として、弁護士として、自由と平和を求め続けました。また、「戦争の記憶を後世に残すことは20世紀に生きた者の責務」と、戦争資料館の建設と運営に努力を惜しみませんでした。

そのしなやかな感性と論理的な思考は、いま私たちが向き合っているさまざまな問題を考えていく道しるべとなるにちがひありません。

## — 目次 —

はじめに 下方映子

平和憲法と共に生きて

### I 人と国家と法律と

権力なき人の声こそ紙面に—「軍拡論」に水かけた世論調査／語りかけた宇宙船ドラマ—原電敦賀事故、生の記事なお不足／核心ついた「教科書」緊急報告／核廃絶へ世論導く責任／知る権利と新聞の役割／憲法記念日／家永三郎著『太平洋戦争』と八・一五のつどい／「改正刑法草案」は表現の自由をどのように制限しようとしているか／国の予防接種行政の誤りを裁く／人権の灯をかかげて力ある弁護士会に!!

### II 女性として市民として

二つの待合室／講演「まだまだ男性社会の中で、女性は哀しくも愛しい」／『哀愛』から／手づくり署名運動あとさき／続・署名運動あとさき／丸木位里・丸木俊「原爆の凶展」を終えて／「西側一員論」に反論する／交響曲「五月の歌」—ことは憲法施行四十周年／中国残留孤児国家賠償訴訟の法廷から／五歳の記憶／遅まきの夢を雲に乗せて

### III “あの戦争”という原点へ —「ピースあいち」前史

戦争メモリアルセンターの建設を呼びかける／『承継』より／加藤たづさんへの手紙／戦争と平和の資料館（仮称）建設の経過と展望

### IV 希望を編む・平和をつむぐ —「ピースあいち」とともに

「ピースあいち」開館のごあいさつ／願いは、資料館の「普通の日々」／希望を編みあわせる場所として／主権者の決意—原発問題を考え、行動しよう／五月、そして憲法一九六条改憲問題／希望はつながっていく／物を言う—ということ／開館一〇周年を迎えて／歴史の流れを止めていいのか／若者たちへのあいさつ ほか

略年表

あとがき 山下智恵子

平和憲法一期生の八十年  
野間美喜子  
向日葵は永遠に



風媒社 定価 1500円+税

反戦と平和、  
憲法をまもる  
市民のとりで  
「ピースあいち」  
初代館長遺稿集

— 怒涛のように行動し、実現してきた物事の数に改めて驚かされた。弁護士としての天性、平和活動家としてのアイデアと実行力、へこたれないパッション。家庭生活も趣味も半端にはしない強力の強さ。我が母ながら天晴れな人だった。（はじめに）

野間 美喜子

1939(昭和14)年東京生まれ。1944年三重県へ疎開。1958年名古屋大学法学部入学。1961年司法試験合格。1964年弁護士登録。四日市公害、新幹線騒音などの公害訴訟や、予防接種禍訴訟に携わる。1981年名古屋憲法問題研究会を設立し、事務局長として様々な護憲活動を展開。1989年名古屋弁護士会副会長就任。1993年「戦争メモリアルセンターの建設を呼びかける会」設立(事務局長)。2007年「戦争と平和の資料館ピースあいち」設立(初代館長)。2019年「NPO法人平和のための戦争メモリアルセンター」理事長就任。2020年3月1日死去(満80歳9か月)。

\*下記注文票に必要事項をご記入の上、FAXにてご注文ください。メールでのご注文も可能です。注文票の内容を記載し、送信してください。

注文票	注文冊数	氏名	電話
		〒	FAX
		住所	E-mail
	冊	備考	

\*返信を持って受付完了とさせていただきます。代金は本書をお届けしてから、同封する振込用紙にてお願いします。(送料別途・振込手数料不要)

お問合せ  
ご注文

戦争と平和の資料館 ピースあいち

〒465-0091

名古屋市東区よもぎ台2-820

TEL/FAX 052-602-4222

E-mail peace@key.ocn.ne.jp